

救急対応・救護講習会報告書

2025.7.4

一般社団法人

日本パラアイスホッケー協会

トレーナー 中沢拓郎

1. 日時：2025.6.26 18:00~19:00

場所：NTC やまびこスケートの森アイスアリーナ 2F スタジオ

講師：加藤光朗（チーム Dr.）、中沢拓郎（チームトレーナー）

参加者：宮崎遼、小山幸子、西野浩平、橋下鉄二、藤田啓志、須藤悟、吉川守

2. 内容

1) BLS（Basic Life Support：一次救命処置）の説明及び実技講習

胸骨圧迫の方法の説明を受け、デモンストレーションを確認し、実技講習を実施。



図1 BLSの説明シーン



図2 質疑応答シーン



図3 デモンストレーション



図4 実技練習

2) Recovery Position(回復体位)の説明及び実技講習

Recovery Position の説明を受け、デモンストレーションを確認し、実技講習を実施。



図 5 Recovery Position の実技練習

3)頭頸部外傷等の頭頸部固定法（MILS：Manual Line Stabilization）の説明及び実演

MILS の説明とネックカラーの使用方法について説明を受け、デモンストレーションを確認。



図 6 MILS・ネックカラー装着のデモンストレーション

4)搬送方法の説明及び実技

搬送方法について説明を受け、Logroll の実践及び搬送を実践。



図7 ヘッドモビライザーの装着練習



図8 バックボードへの固定



図9 搬送練習

3. まとめ

パラアイスホッケーでは、ボディーチェックの衝突や強いシュートがぶつかることにより、頭頸部外傷や心臓震盪などの命に関わる事故が起こる可能性があります。現場にいるスタッフが適切に対応する事が求められます。この様にBLS(一次救命処置)が必要な場面において、速やかに対応する為には、スキルが必要になります。BLSは、日々のトレーニングや確認が重要であり、選手が安心して競技が行える様に、我々スタッフが安全な環境を整える為、研修会を実施しました。研修会では、下肢障がいのあるコーチも参加し、下肢障がいのある中でどの様にBLSを行うかなども確認する事もできました。今回の研修会では、BLSを中心に陸上で行いましたが、今後は、リンクサイドでの、搬送などを想定した訓練の実施を検討し、研修会を継続的に実施していきます。